



岩 切

社協だより

第 26 号 令和 5 年 9 月 1 日

発行：岩切地区社会福祉協議会

手をつなぎ 安心して暮らせる 福祉の街づくり

障がいのある方を対象とした

補助避難所運営訓練

令和 4 年 11 月 18 日

於：岩切市民センター



岩切地区社会福祉協議会・岩切地区民生委員児童委員協議会・岩切市民センター共催



岩切地区社会福祉協議会

会長 渡辺敏之

岩切地区の皆様には私ども社会福祉協議会の活動にご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。ここ 3 年間にわたり世界中新型コロナに振り回された感じがします。皆様におかれましてはさぞかしご不自由な日常であったかと推察いたします。

令和 4 年度も残念ながら地域ふれあい福祉懇談会、豊齢ご夫婦の集いについては感染症防止の観点から中止しました。しかし私どもの重点項目である小地域福祉ネットワーク活動は感染症対策を充分考慮しながら「安否確認活動」「日常生活支援活動」そして「サロン活動」は積極的に取り組んで参りました。

また、福祉事業として岩切小、中学校特別支援学級へ学用品を、かむり学園へ感染症対策品 おひさまくらぶへ日用品などを贈呈しました。

研修会・交流会としては令和 4 年 5 月に「障害のある方に寄り添う」三浦陽子氏の講演、令和 5 年 3 月に「リズムに乗って身体を動かしてみよう」桃園夫美子氏の講演を開催し研鑽を積みました。

11 月は岩切市民センター、民生委員・児童委員協議会と共催にて補助避難所運営訓練を行いました。災害は何時、どのくらいの規模で起こるか分からずこの訓練は更に連携強化にて取り組んで参ります。

今年度は既に 4 月に評議員会（総会）を 6 月に地域ふれあい福祉懇談会を 4 年ぶりに開催いたしました。その他の行事も計画通り進めたく考えております。

中国のことわざ「人間万事塞翁が馬」があります、幸せが不幸に、不幸が幸せにいつ転ずるか分からないのだから安易に喜んだり悲しんだりすべきでない、とのたとえです。現状を見た場合、ロシアのウクライナ侵攻、大国の睨み合い、物価の高騰など悲しいこと、嫌なことが多い昨今です、これらの後には必ず良いこと、嬉しいことが来ることを信じ気持ちを前向きに日々暮らしたいものです。

今後とも地域の皆様には益々のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和4年度の事業をふり返って

■小地域福祉ネットワーク活動

「小地域福祉ネットワーク活動」とは、住民同士が網の目のように連絡・連携しながら、お互いの生活を支え合っていく活動です。感染症対策を徹底して次の3つの活動を行いました。

安否確認活動	日常生活支援活動	サロン活動
日頃から気につけ、声がけや訪問などを行う 延べ 5,055 回	軽微な家事や困りごとを出来る範囲で支援する 延べ 111 回	地域で支援する方・支援を受ける方、両方が一緒になり楽しい仲間づくりの場 延べ 162 回

■福祉事業活動

地域ふれあい配布（令和5年3月1日～31日）

- ① 民生委員児童委員と福祉委員が把握している障がいのある世帯、② 障がいをもつお子様の親の会「おひさまくらぶ」、③ 障害者日中活動支援施設「かむり学園」、④ 岩切小学校特別支援学級
⑤ 岩切中学校特別支援学級に下記の品をお届けしました。



ヘッドライトオルなど



自動温度計付き 非接触
ハンドディスペンサー



丸椅子



ラミネーター
卓球ユニフォーム

■研修会・交流会レポート

令和4年度のテーマ「障がいについての理解を深める」の下、障がいのある方に寄り添う研修会を開催、福祉委員間のコミュニケーションを図るための交流会を行いました。



令和4年5月18 研修会

事例紹介：障がいのある方に寄り添う



令和5年2月28日 施設見学

ソーシャルインクルーホーム仙台岩切



令和5年3月17日 交流会

レクリエーションダンス

■ 広報活動

岩切地区社会福祉協議会の機関誌「岩切社協だより」第 25 号を発行。岩切地区全世帯に配布。

■ 各種会議・行事への参加

- ・市、区等の社協主催行事及び共同募金会会議に参加しました。
- ・町内会連合会主催行事や岩切市民センター事業「子どもの広場」、岩切地域包括支援センターケア会議に参加する等、地域社会との連携を深めました。

■ 団体支援・助成

以下の団体に支援、助成しました。

- ◎岩切地区社会を明るくする運動実施委員会
 - ◎岩切学区青少年健全育成協議会
 - ◎児童サークル ①おひさまくらぶ
 - ②ちびっこクラブ ③クレヨン広場
- ◎ 介護予防運動自主グループ
 - ①畑中南 楽・ら・らくらぶ ②ひまわりクラブ
 - (今市下区) ③おりづる会 (台ヶ原) ④円 遊々(余目)
 - ⑤山崎いきいきクラブ⑥岩切三丁目元気の会

介護予防運動自主グループ 山崎いきいきクラブ 山崎地区の紹介

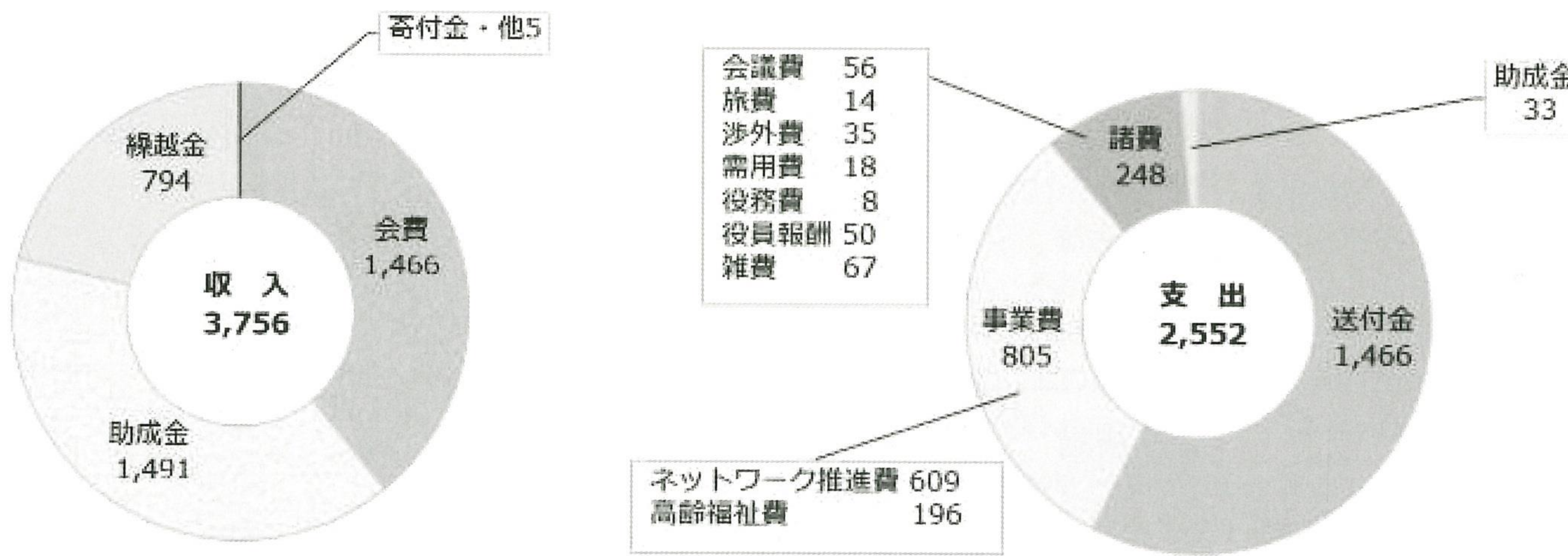
当クラブは、平成 21 年 9 月より始まり今年で 14 年目を迎えました。活動は月一回、会員約 20 名、サポーター11 名で行っています。概ね 65 以上の方を対象に、口腔体操、朝の歌、アイスブレイク、ストレッチ、筋トレ、リズム体操などを行います。レクリエーションでは、楽しいゲームや脳トレ、折紙や小物作りなど笑いの絶えない時間です。

また、年約 3 回の季節のイベントは皆さんに喜んで頂いております。ただ、会員の高齢化やコロナ禍以降、参加を控えている方が多くなっているため今後、会員が増えることを願っております。



令和 4 年度の収支決算

単位：千円



収入：3,755,939 円 支出：2,551,531 円 残：1,204,408 円(次年度繰越金)



岩切地区共同募金会 ～ご協力ありがとうございました～

岩切地区各町内会募金総額 1,031,082 円 宮城野区共同募金会へ納入（令和 4 年 12 月）。皆様からの募金は、災害被災世帯への災害見舞金のお届けや、住みよい地域づくり支援活動・子育て支援事業等あらゆる福祉事業に役立てています。

おめでとうございます

令和 4 年 8 月 31 日、第 57 回仙台市福祉大会
仙台市社会福祉協議会より感謝状の贈呈がありました。
多年にわたり岩切地区福祉委員として、地域住民の身近で相談・支援にあたられました。誠にありがとうございます。

鈴木 康子 様

(洞ノ口 福祉委員)

鎌田 ゆき子 様

(洞ノ口 福祉委員)

畠山 玲子 様

(洞ノ口 福祉委員)

お疲れさまでした

ご退任された方々
岩切地区社会福祉協議会役員として地域福祉活動にご
尽力をいただきました。
心より感謝申し上げます。



大里 伸治 様

(前 副 会 長・在籍 3 年)

佐々 昂 様

(前会計理事・在籍 7 年)

令和 5 年度の事業

岩切地区内の各種団体と連携しながら、安心・安全で明るく住みよい地域づくりに努めてまいります。

- ① 小地域福祉ネットワーク活動の推進

② 福祉事業：地域ふれあい福祉懇談会・子ども食堂
・豊齢ご夫婦の集いの開催

③ 災害時要援護者支援体制や防犯、防災対策の充実
- ④ 研修会・広報活動の充実

⑤ 団体支援・助成

⑥ 協賛行事への参加

⑦ 他団体とのイベント共催

令和 5 年度 役員体制

役 職	担 当	氏 名
会 長		渡 辺 敏 之
副会長	総務・地域福祉活動推進員	齊藤久美子
副会長	共 募 会 長	佐久間松子
理 事	会 計・共募副・庶務	上 田 一 雄
理 事		相 模 依 子
理 事		伊 藤 啓 子
理 事		伊 藤 理 恵
監 事		井 上 恒 男
監 事		門 間 榮 一

編集後記

今年の夏は、猛暑で大変でしたが令和 5 年も残すところ 4 ヶ月となり、今後の天候が気になるところです。
これまでコロナ禍や猛暑で外出を控える方が多く運動不足が気になっております。これからは、出来るだけ外出する機会を増やし、あちこちで、立ち話や笑い声が聞こえてくる光景が見られるようになって欲しいですね。
岩切社協だより第 26 号の発行にあたり、皆様より原稿や写真をお寄せいただきありがとうございました。
心より感謝申し上げます。
皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。
今後とも岩切地区社会福祉協議会をよろしくお願いいたします。
編集委員長 齊藤 久美子

令和 5 年度社協会費内訳

町内会名	世帯数	金 額 (円)
洞 ノ 口	830	249,000
若 宮	580	174,000
入 山	138	41,400
大 橋	105	31,500
台 ケ 原	305	91,500
畑 中 北	180	54,000
畑 中 南	270	81,000
今 市 下 区	550	165,000
今 市 中 区	200	60,000
今 市 上 区	165	49,500
余 目	450	135,000
山 崎	315	94,500
岩切三丁目	246	73,800
県営自治会	60	18,000
分 台	426	127,800
町内会合計	4,820	1,446,000
特 別 会 員	57	57,000
合 計		1,503,000